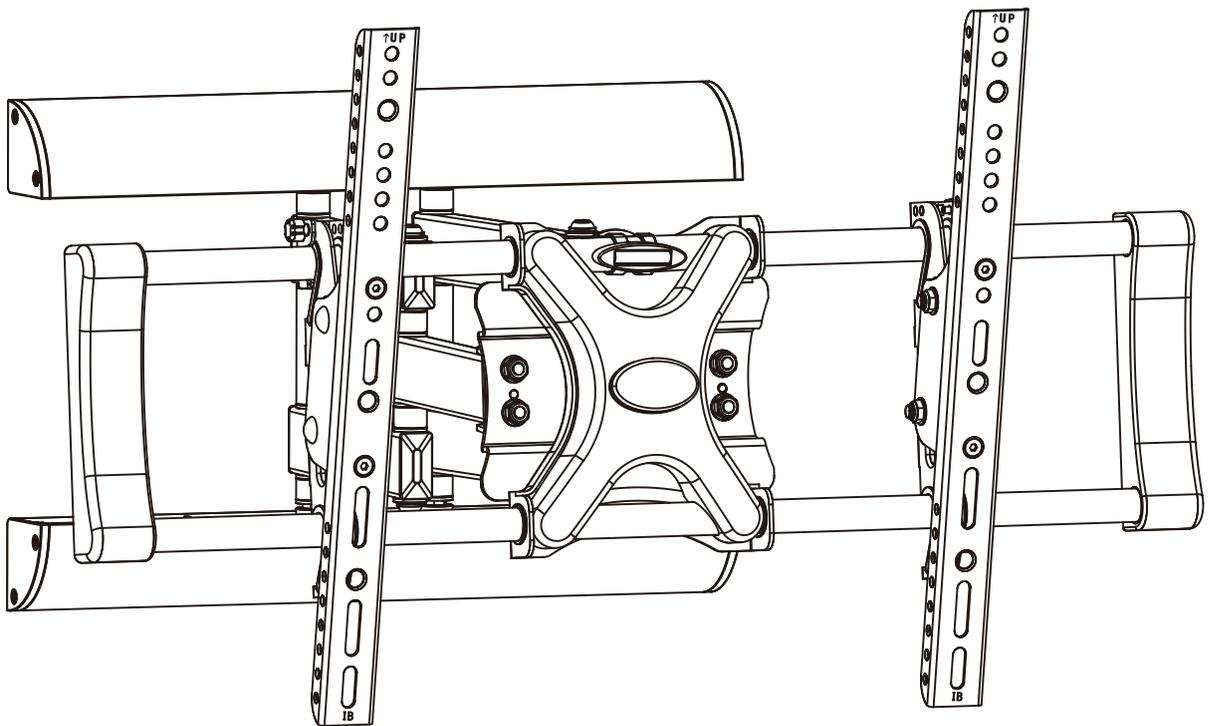


《壁掛ムービングアーム》

TK7-2001

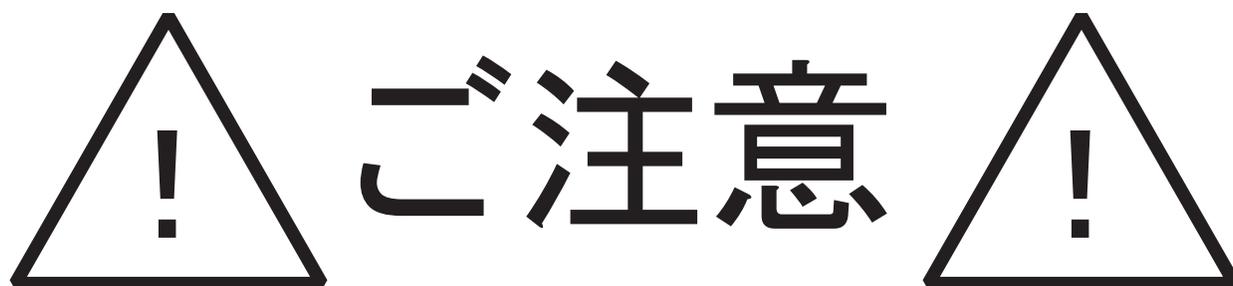
取扱説明書



耐荷重 : 50 kg



動画で詳しく説明しています。
QRコードを読み込んでご覧ください。



家具転倒の恐れあり

取り付けるテレビの重量によっては、テレビを前に出し過ぎると、家具が前倒れする恐れがあり、大変危険です。

テレビを手前に引き出す際は、少しずつ動かして、安全を確認しながら行ってください。

この度は、弊社の商品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
以下の手順にしたがって、取り付け作業を行ってください。

【！ご注意！】作業は安全を確保する為、必ず2人以上で行ってください。

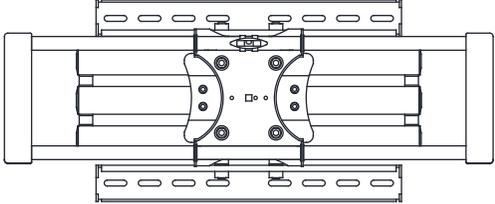
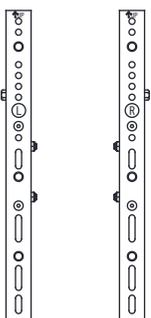
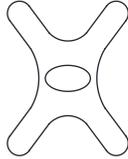
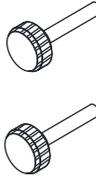
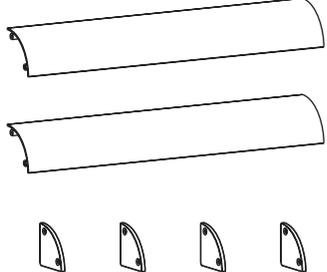
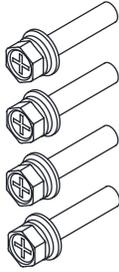
【取り付け手順】

- ①同梱付属部品のご確認
- ②TVボードへ本体アームユニットを取り付ける
- ③テレビへブラケットを取り付ける
- ④本体アームユニットへのテレビの取り付けと調整
- ⑤最終チェック

①同梱付属品のご確認

①-1 「部品名称一覧表」をご覧ください、同梱部品が揃っているかご確認ください。

【部品名称一覧表】

																													
名称【数量】 本体アームユニット【1】	名称【数量】 ブラケット【左右各1】	名称【数量】 正面カバー【1】	名称【数量】 ツマミ（大）【2】																										
		 ※家具への取り付けに使用しません。	 ※家具への取り付けに使用しません。																										
名称【数量】 プラスチックカバー（大・小）【2・4】	名称【数量】 ビス【8】	名称【数量】 六角ボルト【4】	名称【数量】 ワッシャー【4】																										
※使用しない部品も含まれています。ボルトが合わない場合はご自身でお買い求めください。																													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td><td>K</td><td>L</td><td>M</td> </tr> <tr> <td>【4】</td><td>【4】</td><td>【4】</td><td>【4】</td><td>【4】</td><td>【4】</td><td>【4】</td><td>【4】</td><td>【4】</td><td>【6】</td><td>【6】</td><td>【6】</td><td>【4】</td> </tr> </table> <p>A・・・ボルト（M4×12mm） F・・・ボルト（M5×36mm） K・・・壁面取付用アンカー B・・・ボルト（M4×16mm） G・・・ボルト（M6×36mm） L・・・ロングボルト用ワッシャー C・・・ボルト（M5×16mm） H・・・ボルト（M8×36mm） M・・・スペーサー D・・・ボルト（M6×16mm） I・・・角型ワッシャー E・・・ボルト（M8×16mm） J・・・ロングボルト</p>				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【6】	【6】	【6】	【4】
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M																	
【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【4】	【6】	【6】	【6】	【4】																	
名称【数量】																													
部品袋【1】※各数量はアルファベット内に記載																													
名称【数量】																													
六角レンチ【大2】【中2】【小1】																													

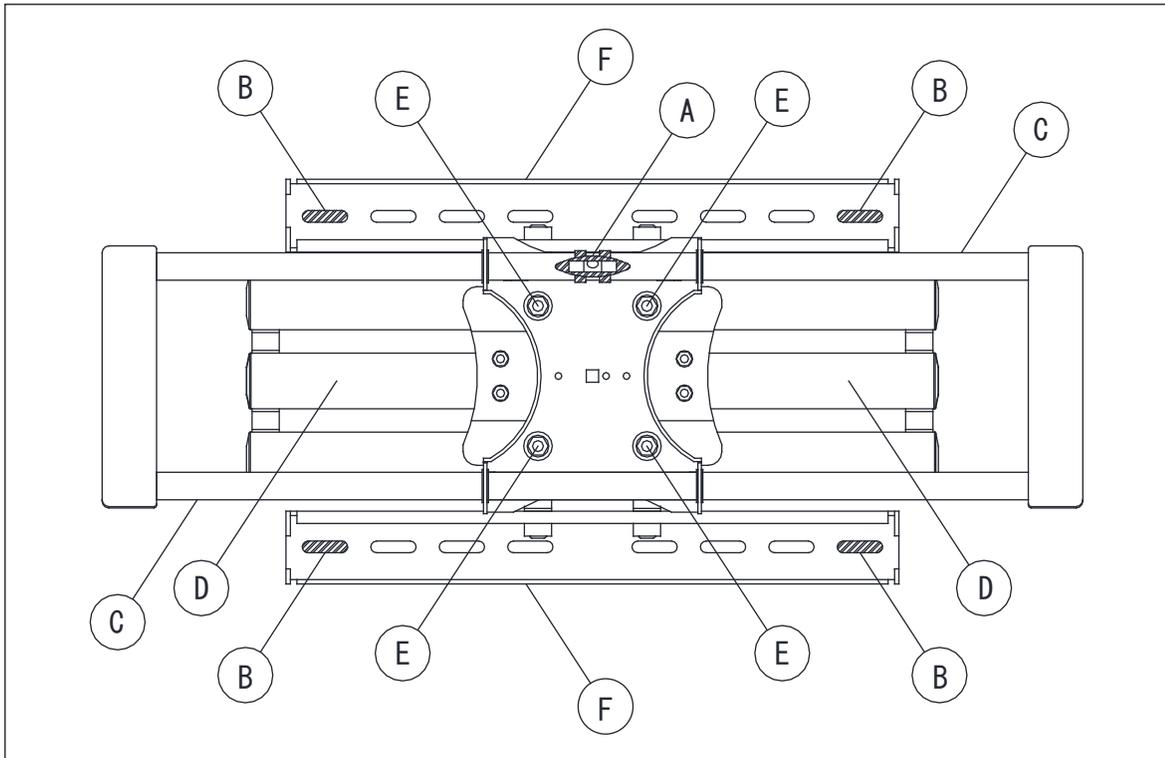
【※万一、同梱部品が足りない場合や破損していた場合はすぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。】

②TV ボードへ本体アームユニットを取り付ける

【ご注意】

脱落等によるテレビや住居・家具の破損を防止し、ケガなどをしないよう作業は必ず2人以上で十分に注意して慎重に行ってください。

②-1 下図をご覧いただき、各部名称をご確認ください。



[各部名称]

A・・・水平器

■テレビを傾き調整する際の目安として使用します。

B・・・TV ボード取り付け使用穴

■TV ボードのバックパネルへの取り付けに使用する穴です。

C・・・バー

■ブラケットを掛けるパイプ部です。

D・・・アーム部

■テレビを前後に調整する際のアーム部です。

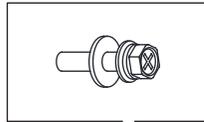
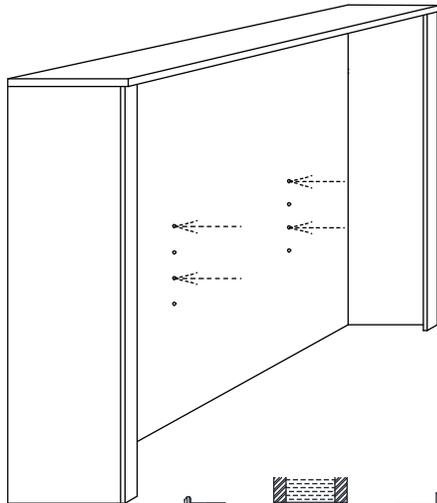
E・・・傾き調整ナット

■テレビの傾きを調整する際に緩めるナットです。

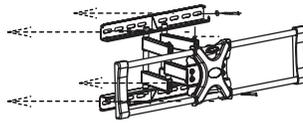
F・・・ベースプレート

■TV ボードに取り付ける基部です。

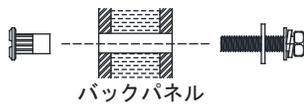
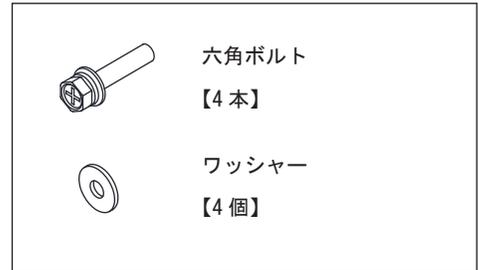
②-2 TVボードに本体アームユニットを取り付けてください。



プラスドライバーで捻じ込んでください。
(※プラスドライバーは付属されていません。)



●使用部品



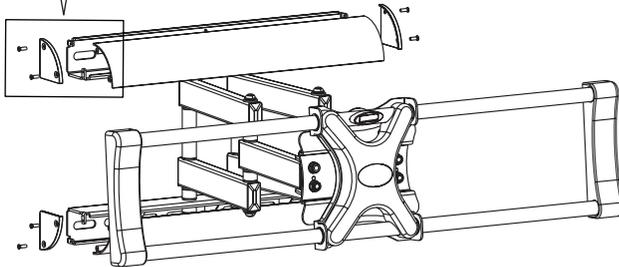
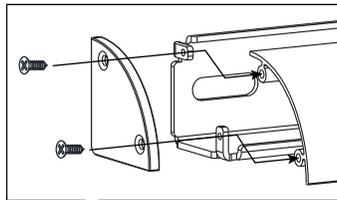
■商品によってはTVボードに取り付ける際六角ボルトと※連結金具 14mmで取り付ける場合があります。



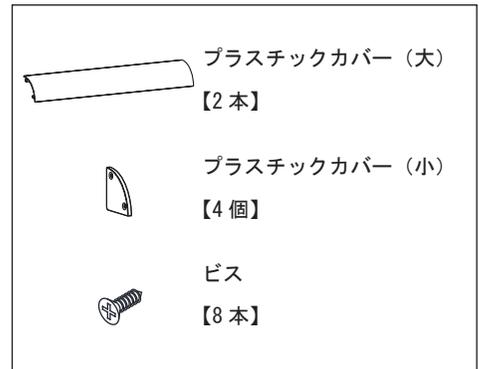
ワンポイント

- バーの間に腕を通して金具を持つと、安定して持つ事ができます。
- TVボードの使用穴を決めておくとスムーズに作業が行えます。

②-3 ベースプレートにプラスチックカバーを取り付けてください。



●使用部品



ワンポイント

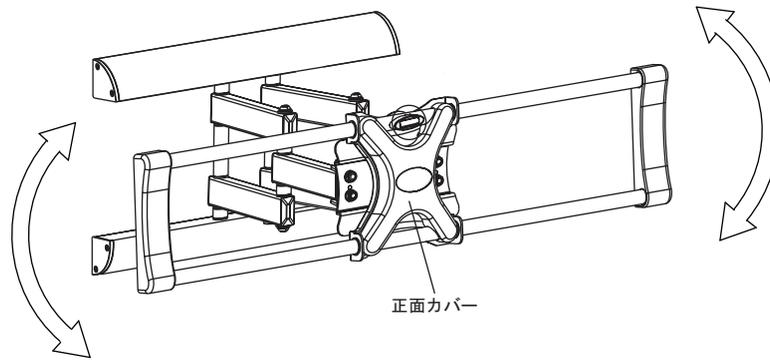
- ビスを1本ずつ完全に捻じ込むと、最後のビスが取り付け難くなる場合があります。上4本、下4本のビスを、それぞれ2/3程度捻じ込んで仮固定し、その後全てのビスを最後まで捻じ込むと、スムーズに取り付けが行えます。

！ご注意！

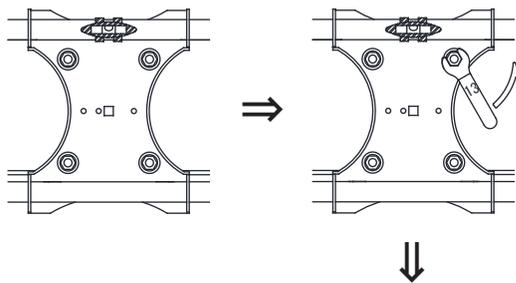
- 本体アームユニットの落下等によるケガや破損を防止する為、必ず2人以上で作業を行ってください。
- 金具を持ち上げたり移動したりする際は、アーム部での指詰め等にご注意ください。
- プラスチックカバー (小) の、取り付け取り外しを繰り返し行くと、プラスチックカバー (大) のビス固定穴が大きくなってしまい、しっかりと取り付ける事ができなくなります。

②-4 バーが水平になるよう調整してください。

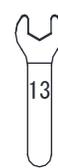
(1) 付属品の「正面カバー」を取り付けている場合は、そのカバーを外してください。



(2) 「正面カバー」を外すと、ナットが4個あります。付属のスパナで、そのナットを反時計回りに90度程度回転させてナットを緩め、バーに付属している「水平器」で気泡が中心になるように大まかな調整をします。その位置で仮固定し、目視で最終調整を行ってください。



●使用部品



スパナ
【1本】



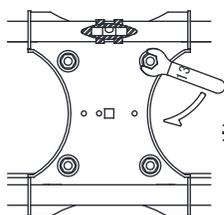
ワンポイント

- 六角ナットを緩めすぎるとバーの保持力が無くなり、角度調整が難しくなりますので、少しだけ緩めて角度調整を行った方が作業が簡単にできます。
- 付属の「水平器」は簡易タイプですので、最終調整は目視の方がバランスよく調整出来ます。

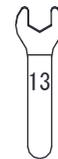
！ご注意！

- ナットを緩める際、空廻し等でケガをしないよう慎重に作業を行ってください。

(3) 位置が決まったら、付属のスパナで (2) で緩めたナットを全て強く時計回りに締め付けます。



●使用部品



スパナ
【1本】

！ご注意！

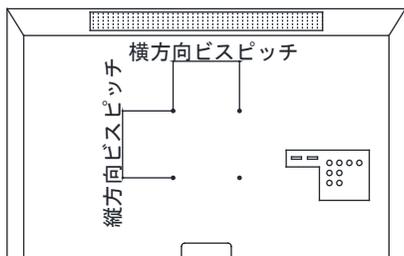
- 締め付けの際も、空廻し等でケガをしないよう慎重に作業を行ってください。
- 後日、緩みがないか確認し、緩みがあれば再度締め付けてください。

③テレビへブラケットを取り付ける

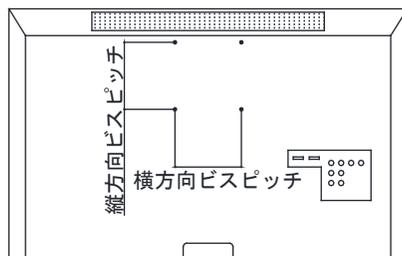
③-1 テレビ背面のボルト穴の位置とブラケットの使用穴をご確認ください。

(1) テレビのボルト穴に合うボルトを部品袋 (A ~ H) から選択してください。

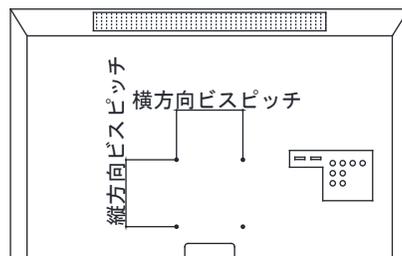
(2) テレビのボルト穴の位置により、ブラケットの使用穴が異なります。下図を参考にテレビのボルト穴に初期設定位置のままブラケットの推奨穴を重ねてください。



●中心にボルト穴が有るタイプ

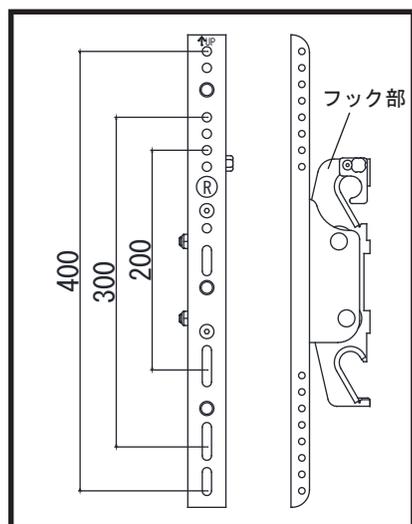


●上部にボルト穴が有るタイプ

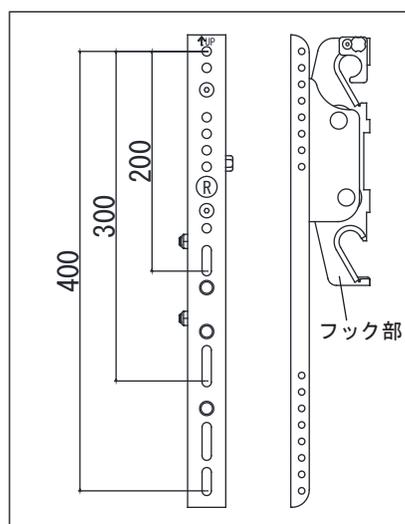


●下部にボルト穴が有るタイプ

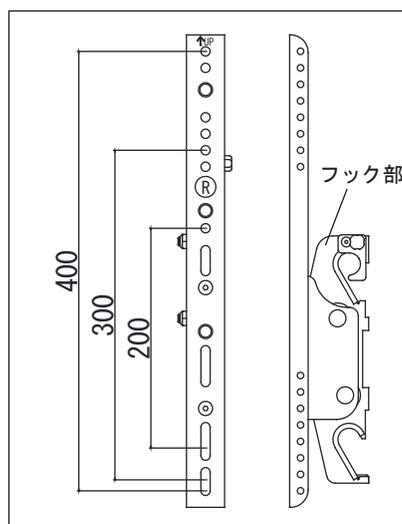
【テレビ縦方向ビスピッチに対応するブラケット推奨使用穴図】



(a) 初期設定位置

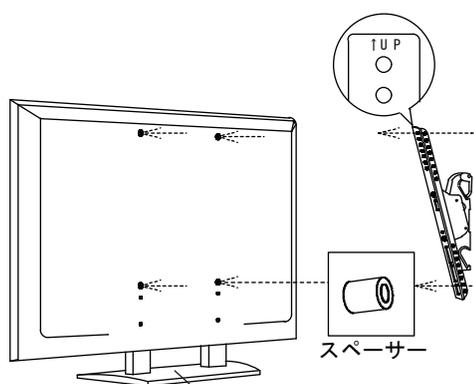


(b) テレビの上部からブラケットが飛び出る場合



(c) テレビの下部からブラケットが飛び出る場合

(3-a) 重ねた状態でブラケット上下の先端がテレビの上部、又は下部から飛び出していなければ、重ねた推奨穴を使用して選択したボルトでブラケットをテレビに固定してください。

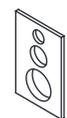


テレビスタンドの取り外しにつきましては、各メーカーのテレビの取扱説明書をご参照ください。

●使用部品 (基本)



部品袋 : A ~ H ビス (選択)
【4本】



部品袋 : I 角ワッシャー
【4個】

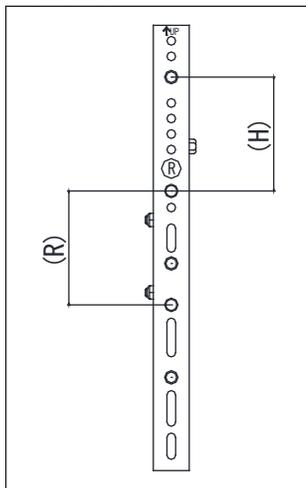
●使用部品 (段差やケーブル等に被る場合)



部品袋 : M スペーサー
【4個】

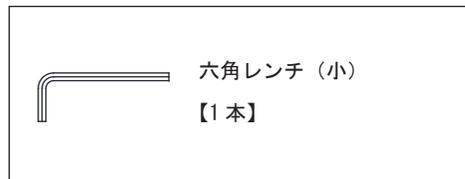
(3-b) 重ねた状態でブラケット上部先端がテレビの上部から飛び出している場合は、前ページの「ブラケット推奨使用穴図」**(b)**のように、フック部の位置変更をして選択したボルトでブラケットをテレビに固定してください。

■使用穴

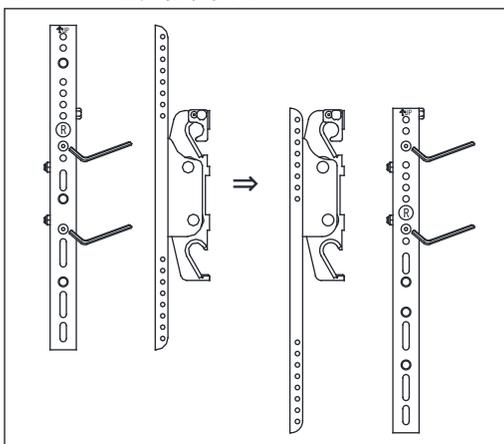


※ブラケットが上部に飛び出る場合は、フック部を取付位置(H)に付け替えます。

●使用部品



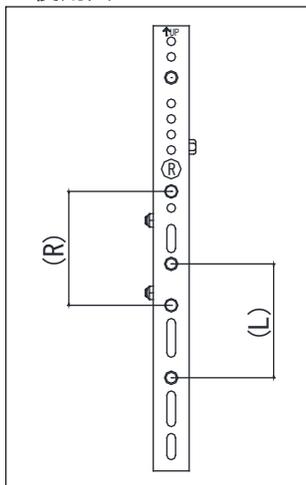
■フック位置変更方法



- ① ブラケット正面の皿ビスを付属の六角レンチ (小) で取り外します。
- ② 取付位置 (H) にビス穴を合わせて皿ビスをしっかりと捻じ込みます。

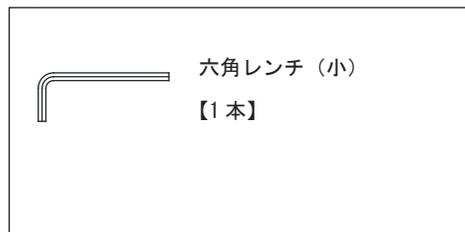
(3-c) 重ねた状態でブラケット下部先端がテレビの下部から飛び出している場合は、前ページの「ブラケット推奨使用穴図」**(c)**のように、フック部の位置変更をして選択したボルトでブラケットをテレビに固定してください。

■使用穴

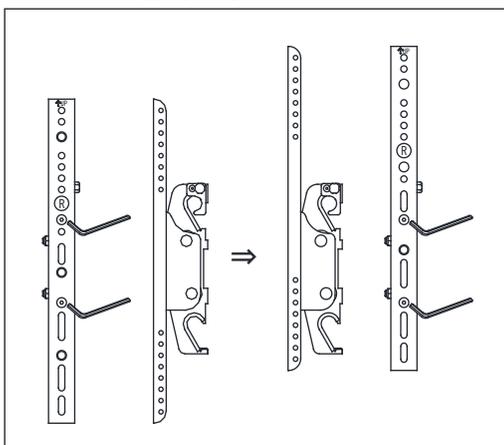


※ブラケットが下部に飛び出る場合は、フック部を取付位置(L)に付け替えます。

●使用部品



■フック位置変更方法



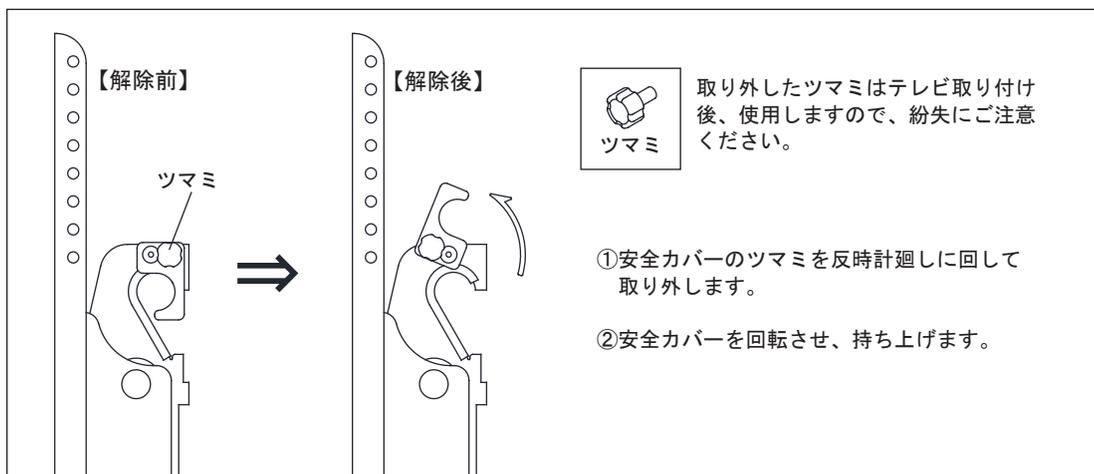
- ① ブラケット正面の皿ビスを付属の六角レンチ (小) で取り外します。
- ② 取付位置 (L) にビス穴を合わせて皿ビスをしっかりと捻じ込みます。

※ブラケットをテレビへ取り付ける方法は前ページ (3-a) をご参照ください。

④本体アームユニットへのテレビの取り付けと調整

④-1 本体テレビアームユニットへ取り付ける為の準備を行います。

(1) ブラケットの安全カバーを解除してください。

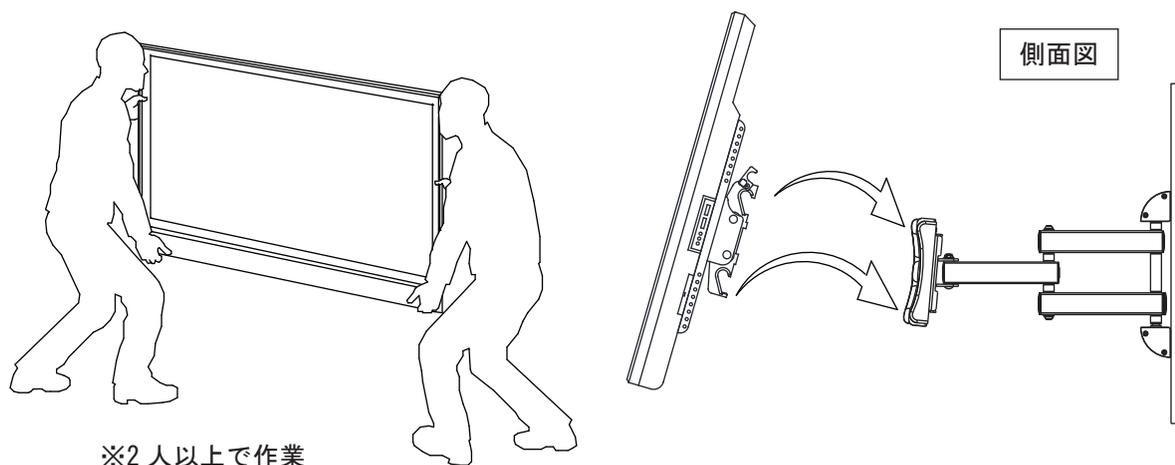


(2) テレビにスタンドが付いている場合、スタンドを取り外してください。

※テレビスタンドの取り外しにつきましては、各メーカーのテレビの取扱説明書をご参照ください。

④-2 テレビを本体テレビアームユニットへ取り付けます。

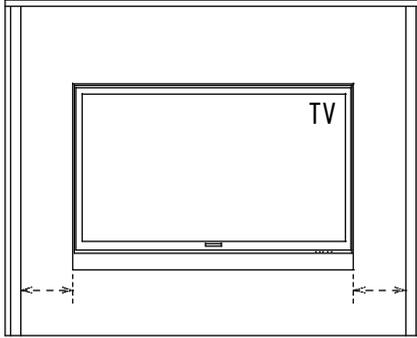
(1) テレビを左右からしっかりと持ち、ブラケットのフック部を本体アームユニットのバーに掛けます。



！ ご注意！

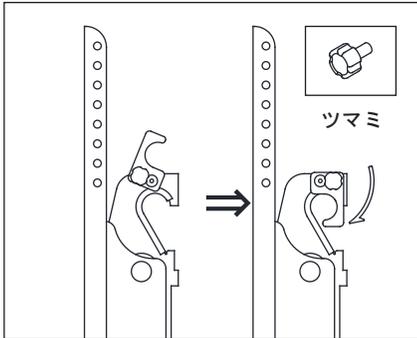
- 安全の為、取り付けは必ず2人以上で行ってください。
- できるだけテレビが中央になるように掛けてください。片側に寄せると荷重が偏り耐荷重範囲であっても製品の破損や脱落する可能性があります。

(2) 設置位置を調整します。

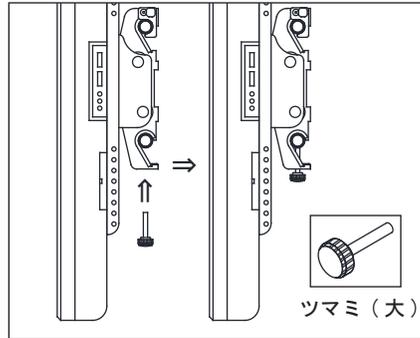


1. テレビの位置微調整して中央になるよう整えます。

●使用部品



2. 安全カバーを戻し、ツマミを締めます。

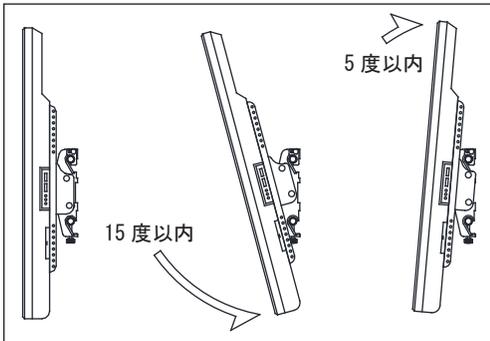


3. ブラケットの下側からツマミ (大) を締めます。

！ご注意！

■テレビは、できるだけ本体アームユニットの中央に掛けてください。片側に寄せると荷重が片側に偏り破損や、正常な動作や操作が出来なくなる場合があります。

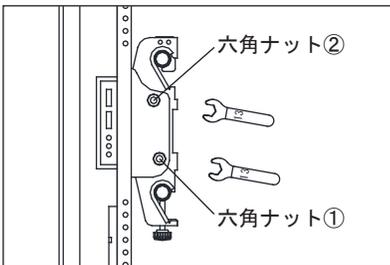
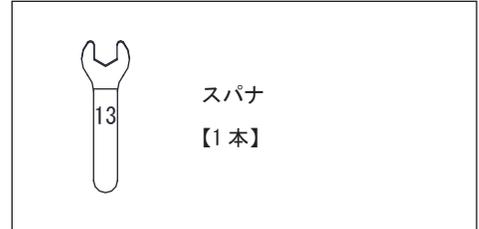
④-3 ブラケットの傾きを調整してください。



【調整範囲】
上向き…5度
下向き…15度

※上記の範囲でお好みの位置に調整してください。

●使用部品



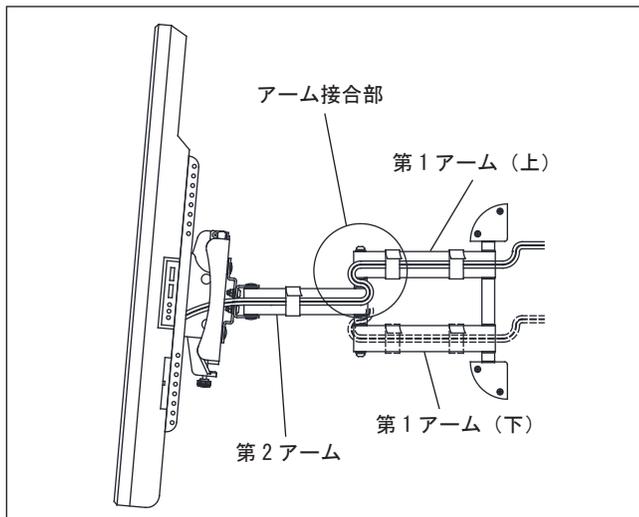
ワンポイント

- 左右のブラケットの内側にある六角ナット①を少し緩めると、角度調整の動作をスムーズに行えます。六角ナット①を緩めてもスムーズに動かない場合は、六角ナット②を少し緩めてください。
- テレビの角度の調整後、角度変更しない場合は六角ナット①②を強めに締めると、テレビの角度を一定に保つ事ができます。

！ご注意！

■六角ナットを緩めすぎると、ブラケットの保持力が低下しテレビが下向きに傾いてしまうので、少しずつ緩めて調整してください。

④-4 配線後、配線ケーブル等をアーム部に沿ってコードバンドで固定します。



●使用部品



！ご注意！

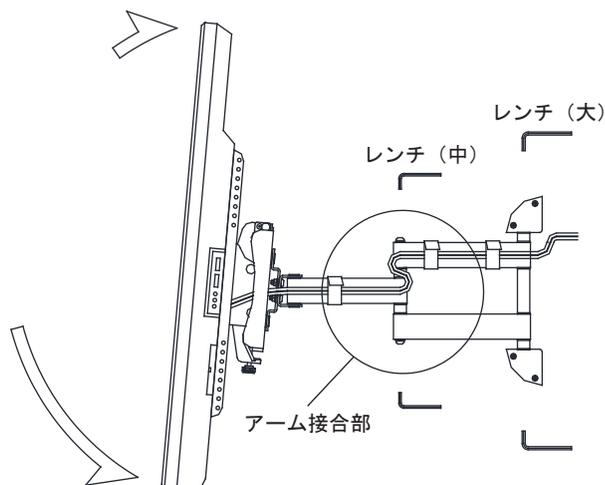
- テレビの取り付け位置や配線の位置によって、第1アームの上下を選択して留めてください。
- テレビを手前に引き出した状態より奥に押し込んだ状態の方が、アーム部に沿わせるケーブルが長く必要となります。テレビを手前に引き出した状態でケーブルを留める際は、第1アームと第2アームの接合部に十分な余裕を持たせてコードバンドで固定してください。余裕が無い状態でテレビを前後に可動させると、ケーブルの抜け落ちや破損、断線の恐れがあります。

⑤最終チェック

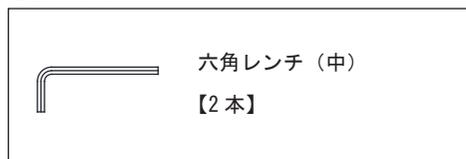
チェック項目

- 本体アームユニットは、TVボードにしっかりと取り付いていますか？ ⇒ ②-2 へ
- テレビは平行に取り付いていますか？ ⇒ ②-4 へ
- テレビは本体アームユニットの中央に掛けられていますか？ ⇒ ④-2 (1) へ
- 安全カバー、ツマミ (大) は、取り付けられていますか？ ⇒ ④-2 (2) へ
- その他、部品の取り付け忘れや、取り付け間違いが無いかご確認ください。

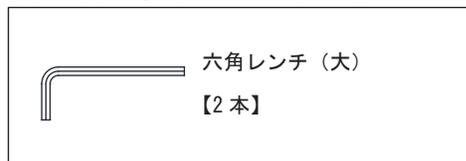
テレビを取り付けた後、テレビの重さや重量バランスによってアーム部が動く事が有りますのでその際は、下記のボルトを締め付けて動作の調整をしてください。



●使用部品



●使用部品 (①で動きが止まらない場合)



- ①アーム接合部のボルトを締め付けて、動作の調整してください。ボルトは上下が連動していますので上下にレンチを差し込んで一方を固定し、もう一方を時計回りに回転して締めてください。
(※左右を同じように締め付けてください。)

- 【①で動きが止まらない場合のみ締め付けてください】
②プラスチックカバーを取り外して、動作の調整をしてください。ボルトは上下が連動していますので上下にレンチを差し込んで一方を固定し、もう一方を時計回りに回転して締めてください。
(※左右を同じように締め付けてください。)

